

20030075(別冊4-1)

平成15年度厚生労働科学研究費補助金(政策科学推進研究事業) 研究報告書

# 急性期入院医療試行診断群分類を活用した調査研究

(課題番号 H13-政策-034)

別冊 4 - 1

診断群分類の精緻化に関する研究

(MDC01)

平成16(2004)年4月

協力研究者	桑原	一彰
分担研究者	今中	雄一
主任研究者	松田	晋哉

平成 15 年度厚生科学研究費補助金（政策科学推進研究事業）

急性期入院医療試行診断群分類を活用した調査研究

研究報告書

診断群分類の精緻化（定義テーブルの修正のために）

MDC 1 『脳腫瘍（DPC6 桁分類 010010）』

報告者

桑原	一彰	京都大学大学院医学研究科	医療経済学分野	博士課程（協力研究者）
今中	雄一	京都大学大学院医学研究科	医療経済学分野	教授（分担研究者）
松田	晋哉	産業医科大学公衆衛生学教室		教授（主任研究者）

特定機能病院で平成 15 年 4 月から順次導入された診断群分類（DPC）の問題点を整理し、より妥当な評価体制につなげていくことは急務である。今回、DPC6 桁コード 010010 『脳腫瘍』を選択し、その分類の妥当性検証を、平成 14 年度 7 月から 10 月にかけて収集されたデータをもとに行った。各医療費関連指標において、年齢、性別などの患者因子や施設因子、併存症よりも、処置（特に化学療法、中心静脈栄養など）に配慮（別途独立評価）を要することが判明した。重症度の JCS は各種医療費関連指標に大きな影響は与えなかった。医療の質評価（死亡リスク因子分析）では、JCS100~300、処置（中心静脈栄養、人工呼吸、）があげられた。施設地域・母体に差があった。現行の診断群分類は、在院日数や一件支払い評価（包括範囲点数や総点数）で決定係数を上昇させた。

#### A. 研究背景と目的

平成 15 年度 4 月より特定機能病院において順次支払いに導入された診断群分類（DPC）は、臨床専門科別に組織された 21 のグループの意見をベースとして、資源投入量に影響をもたらすと示唆される臨床病名（ICD 対応）、その手術・処置（診療報酬点数上の K・J コード）、併存症併発症（ICD 対応）、それ以外の重症度から作成された。その『定義テーブル』は平成 14 年度 10 月以降、次々と改訂され、中央社会保険医療協議会の審議を経て、正式に平成 15 年 1 月に定義テーブル（β 版）として公表された。支払い評価作成には、平成 14 年度 7 月から 10 月までの 4 ヶ月間で

集積された特定機能病院 29 万件余りのデータから、医療保険対象患者でかつレセプト情報が整備された約 26 万件を抽出・活用された。そして前述『定義テーブル』にある、入院目的、診断、手術手技、副傷病名、重症度を組み合わせた分類で、集積症例 20 件以上、変動係数 1 以下の基準を満たした 575 傷病数、1860 分類が確定し、1 日あたりの包括支払い額が決定された。しかしこの分類の妥当性を更に向上させるためには、継続的な評価が不可欠である。すなわち疾患群として異質なものはないか、手術・処置などが臨床的観点からみると、在院日数や支払いなどにどのような問題があるのか、副傷病や年齢などの重症

度において分類上配慮を要するものはないかなど、さまざまな観点から検証されるべき事項がある。今回、医療費関連指標として在院日数（以下 LOS）、診療報酬総点数(cALL)、包括範囲<sup>ii</sup>一件点数(cDPC)、現行の『包括範囲一日点数(dDPC)』を目的変数として、前述の角度からいかなる問題点があるのか、平成14年度7月から10月まで特定機能病院で収集されたデータを活用し分析した。そしてそこで問題になった因子に関して、定義テーブル<sup>iii</sup>や樹形図<sup>iv</sup>に反映させることで、より妥当なDPC分類につなげることが大きな目的である。

研究目的：①定義テーブル上の疾患群や手術・処置、年齢の現状分析、②、医療費関連指標（LOS,cALL,cDPC,dDPC）を目的変数としてあげ、診断群分類上留意すべき説明因子を探り、定義テーブルに反映させ、より妥当なものにすること、③更に副傷病を同時に系統的整理し、かつ副傷病が上述医療費関連指標にいかなる問題をもっているのかを検討、④医療の質の評価として、退院時転帰（入院後24時間以内死亡を除く死亡退院）に影響をもつリスク因子（年齢なのか、疾患なのか、手術・処置なのか、地域や施設母体なのか）は何かの分析、である。

## B.研究方法

### 対象

平成14年度7月から10月まで特定機能病院から収集した患者情報（臨床情報〈様式1〉、診療報酬点数情報〈様式2他〉）の内、MDC1『脳腫瘍（DPC6 桁コード：010010）』の2594件〔内入院後24時間以内死亡43件、退院時死亡患者141件〕である。ここで説明因子として分析したものは以下の通りである。

### 患者属性因子

①年齢因子：15歳未満、15歳以上65歳未満、65歳以上の3カテゴリー

②性別

③施設地域

region1：北海道

region2：東北

region3：関東

region4：中部

region5：近畿

region6：中国

region7：四国

region8：九州

④施設母体

inst1：国立

inst2：公立

inst3：私立

⑤救急車搬送の有無(ambulcat)

⑥JCS(Japan Coma Scale)

意識清明

jcscat1：JCS1~3

jcscat2：JCS10~30

jcscat3：JCS100~300

臨床情報

⑦疾患群<sup>v</sup>：ICD10は腫瘍部位と病理を明示しているため、ここではICDがもつ臨床情報で以下のようにカテゴリー化した。

brain11：髄膜悪性腫瘍群

brain12：髄膜良性腫瘍群

brain21：大脳悪性腫瘍

brain22：大脳良性腫瘍

brain31：小脳良性腫瘍

brain32：小脳良性腫瘍（脳幹部含む）

brain41：脳幹部悪性腫瘍

brain51：脳神経悪性腫瘍

brain52：脳神経良性腫瘍

brain61：転移性脳腫瘍

brain91：部位不明悪性腫瘍

brain92：部位不明良性腫瘍

brain99：詳細不明脳腫瘍

重回帰分析では brain99：詳細不明脳腫瘍を対照とした。

⑧手術手技<sup>vi</sup>：

在院中の手術手技情報は最大5項目採取しており、これらの情報を以下のように整理した。

Tumope1：バーホール術単独

Tumope2：定位脳手術

Tumope3：頭蓋内脳腫瘍手術

Tumope4：頭蓋底腫瘍手術

Tumope5：脊髄腫瘍手術

聴神経腫瘍手術、脳下垂体腫瘍手術は後述する重回帰分析のときに各々頭蓋内脳腫瘍手術、頭蓋底腫瘍手術に組み込んだ。

⑨処置

補助療法(adjuvant)として

化学療法(adju1)、放射線療法(adju10)、併用療法(adju11)とし、

他に

治験(chiken)

中心静脈栄養(ivhdum)

人工呼吸(ventidum)

人工透析(hddum)

リハビリ(rihadum)

以上の有無を分析した。

⑩入院時併存症、入院後併発症(以下 CC<sup>vii</sup>)：

Manitoba-Darhmouth Comorbidity Index の(以下MD指標)<sup>viii</sup>を用い、糖尿病(dcindm)

(合併症を有する糖尿病:dcinsdm<sup>ix</sup>、有しないもの:dcinmdm<sup>x</sup>)、痴呆(dcindem)<sup>xi</sup>、慢性閉塞性肺疾患(dcincopd)<sup>xii</sup>、末梢血管障害(dcinpvd)<sup>xiii</sup>、慢性腎不全(dcincrf)<sup>xiv</sup>、心不全(dcinchf)<sup>xv</sup>、自己免疫疾患(dcinctd)<sup>xvi</sup>、肝障

害(dcinld)(慢性肝障害:dcinmld<sup>xvii</sup>、重症肝障害:dcinsld<sup>xviii</sup>)、悪性新生物(dcinal) (原発性:dcintum<sup>xix</sup>、転移性:dcinmst<sup>xx</sup>)前立腺肥大(dcinbph)<sup>xxi</sup>、入院後併発症として静脈血栓塞栓、肺梗塞(dccdvt)<sup>xxii</sup>、手術続発症(dcccomp)<sup>xxiii</sup>について、様式1の入院時併存症(4つ併記)入院後併発症(3つ併記)から各々、該当 ICD10 コードを収集し、有無を検索した。

目的変数には、コストの代替変数として医療費関連指標 LOS,cALL, cDPC dDPC を選択した。また医療の質評価のために、退院時死亡確率(入院24時間以内死亡例を除く)も目的変数とした。

解析方法：上記目的変数に影響すると思われる因子を抽出するために、各説明因子を強制投入し重回帰分析を行い、偏回帰係数や標準化係数(図表C群の凡例の中で‘B’と表記)が大きいか統計的有意なものを検索した。また施設因子(施設地域、設立母体)の投入前後の重回帰分析<sup>xxiv</sup>も行い、決定係数の差を調べた。医療の質の評価については、退院時死亡(入院24時間以内死亡患者を除く)に関してロジスティック回帰分析を行い、死亡確率に影響するリスク因子(図表D群でオッズ比:凡例・表の中で Exp(B)と表記)を分析した。

尚、前記分析の際の対照群は索引で示す。統計処理は SPSS for Win(Ver11.0)を用いた。統計学的有意差を 0.05 とした。

## C.結果

年齢は15歳未満231件(8.9%)、15歳以上65歳未満1653件(63.7%)、65歳以上710件

(27.4%)で、ヒストグラムでは左に裾を引く1峰性分布であった(図A群)。男性1322件(51.0%)、女性1272件(49.0%)、地域は北海道95件(3.7%)、東北163件(6.3%)、関東1099件(42.4%)、中部287件(11.1%)、近畿413件(15.9%)、中国143件(5.5%)、四国63件(2.4%)、九州331件(12.8%)であった。施設母体は国立1359件(52.4%)、公立183件(7.1%)、私立1052件(40.6%)であった。救急車搬入は189件(7.3%)、入院後24時間以内死亡は43件(1.7%)、退院時死亡は141件(5.4%)であった。JCSは意識清明2333件(89.9%)、JCS1~3は194件(7.5%)、JCS10~30は39件(1.5%)、JCS100~300は28件(1.1%)であった。脳腫瘍部位病理の内訳は、髄膜悪性腫瘍50件(1.9%)、髄膜良性腫瘍365件(14.1%)、大脳悪性腫瘍519件(20.0%)、大脳良性腫瘍46件(1.8%)、小脳悪性腫瘍82件(3.2%)、小脳良性腫瘍74件(2.9%)、脳幹部悪性腫瘍57件(2.2%)、脳神経悪性腫瘍46件(1.8%)、脳神経良性腫瘍195件(7.5%)、転移性脳腫瘍677件(26.1%)、部位不明悪性腫瘍321件(12.4%)、部位不明良性腫瘍103件(4.0%)、詳細不明脳腫瘍59件(2.3%)であった。入院時併存症では、合併症を有する糖尿病59件(2.3%)、合併症のない糖尿病11件(0.4%)、痴呆9件(0.3%)、慢性閉塞性肺疾患35件(1.3%)、末梢血管障害3件(0.1%)、慢性腎不全5件(0.2%)、心不全7件(0.3%)、自己免疫疾患5件(0.2%)、慢性肝障害23件(0.9%)、重症肝障害11件(0.4%)、前立腺肥大10件(0.4%)、入院後併発症の静脈血栓塞栓、肺梗塞は7件(0.3%)、手術関連続発症11件(0.4%)であった。手術は、パーホール術17件(0.7%)、定位脳手術25件(1.0%)、

頭蓋内脳腫瘍手術953件(36.7%)、聴神経腫瘍手術9件(0.3%)、脳下垂体腫瘍手術7件(0.3%)、頭蓋底腫瘍手術37件(1.4%)、脊髄腫瘍手術26件(1.0%)であった。施行処置は化学療法416件(16.0%)、放射線療法621件(23.9%)、併用療法230件(8.9%)であった。中心静脈栄養344件(13.3%)、人工呼吸132件(5.1%)、人工透析4件(0.2%)、リハビリは538件(20.7%)であった。

医療費関連指標であるLOS, cALL, cDPCに関して各説明因子毎の箱ひげ図を見ると、年齢では低年齢ではdDPCが高いほかは差はなかった。施設地域で中央値はほぼ関東が短く中国四国が若干高かった。病態部位に関して悪性腫瘍関係のばらつきが大きかった。入院時併存症、手術関連続発症についてみると、糖尿病、肝障害、手術関連合併症を有するほうが大きかった。手術に関しては、パーホール、聴神経腫瘍手術では小さい以外、他は差はない。補助療法は併用療法では大きかった。一方dDPCについてみると、患者基本属性、各種病態、併存症、治療関係では差はみられなかった(図B群)。

各目的変数の度数分布表は右に裾をひく分布であった。cALLでは2峰性であるのに対して、cDPCでは右に裾をひく一峰性の分布、dDPCは左右対称な一峰性の分布であった(図A群)。

LOS, cALL, cDPCのそれぞれを目的変数とした重回帰分析では、決定係数は各々0.391(施設因子投入後0.405), 0.573(0.579), 0.397(0.405)であった。dDPCでは決定係数は0.144(0.157)であった。説明因子のうち、特に標準化係数が大きくかつ有意確率が0.05以下のものを順にみると、LOS(施設因子投入による分析)では頭蓋内脳腫瘍手術

(標準化係数 0.285)、併用療法 (0.272)、リハビリ (0.224)、中心静脈栄養 (0.174) であった。cALL では頭蓋内脳腫瘍手術 (標準化係数 0.559)、併用療法 (0.226)、頭蓋底脳腫瘍手術 (0.186)、中心静脈栄養 (0.186) であった。cDPC では頭蓋内脳腫瘍手術 (標準化係数 0.273)、中心静脈栄養 (0.237)、併用療法 (0.236) であった。dDPC では化学療法 (標準化係数 0.147)、人工呼吸 (0.085)、中心静脈栄養 (0.062)、逆に放射線療法 (標準化係数 -0.235)、リハビリ (-0.080) であった。手術ではバーホール以外では dDPC では標準化係数がすべてマイナスであった (表 C 群)。重症度のひとつである、JCS は標準化係数が小さいかまたは統計的有意差はなかった (図 C 群)。死亡退院のリスク因子では、オッズ比 (odds ratio : 以下 OR) が中心静脈栄養 (OR=13.43 倍、95% 信頼区 : 8.21-21.96)、人工呼吸 (OR=5.57 倍、95% 信頼区間 : 11.19-22.48) と高かった。JCS100~300 は (OR=4.07 倍、95% 信頼区 : 1.29-12.79) で脳腫瘍の部位病理には差がなかった。

地域では中国 (対関東 OR=0.151 倍、95% 信頼区 : 0.042-0.548)、東北 (対関東 OR=0.312 倍、95% 信頼区 : 0.101-0.964)、逆に公立 (対私立 OR=2.673 倍、95% 信頼区 : 1.044-6.840) と高かった。(Hosmer-Lemeshow 適合度検定, 有意確率 0.581) (図表 D 群)。

#### D. 考察

診断群分類 (手術、処置、副傷病名、重症度) の臨床的妥当性を LOS, cALL, cDPC, dDPC から分析し、分類を精緻化していくことは急務の課題である。これにより、平成 14 年度の定義テーブルとデータを元に各施設への支払いが決定されているプロセスに正当性を与

え、更にはより妥当な評価見直しを行うことが可能になる。DPC の精緻化に際して、本来は LOS, cALL, cDPC, dDPC より、米国の RBRVS のように時間、物量、心理的負荷などの、より妥当な医療費関連指標を目的変数とし多軸的に分析すべきである。現在 DPC に対応した原価計算プロジェクトは開始されており、今後これを活用した精緻化作業が進んでいくことが期待される。現行の一日定額支払いのもとでは、各説明因子の決定係数は、一件当たり包括額など他の 3 つの医療費関連指標に比較し小さかった。しかし診療に関する施設間の標準化が進んでいない現状を考慮すると、日本の保険医療制度改正の出発点としては一日当たり包括評価が一番問題が生じにくいという、逆説的利点があるかもしれない。すなわち現支払い額は在院日数に強く依存するものであり、この在院日数は海外に比しとても長いこともあり大きくばらついている。この在院日数のばらつきを収斂させてから、一件あたり定額支払いの可能性を議論することが望ましい。しかしどの評価指標にする、影響する因子を同定し、これらが妥当に評価されるべきであるのは急務である。

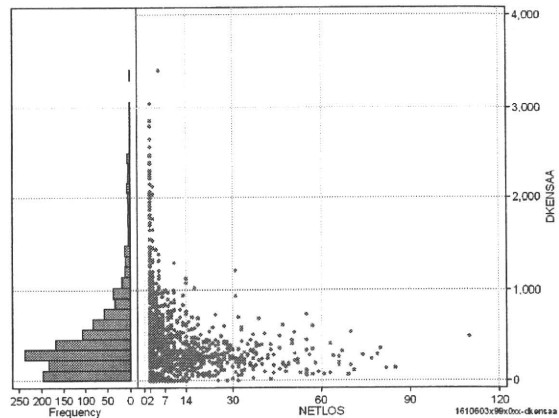
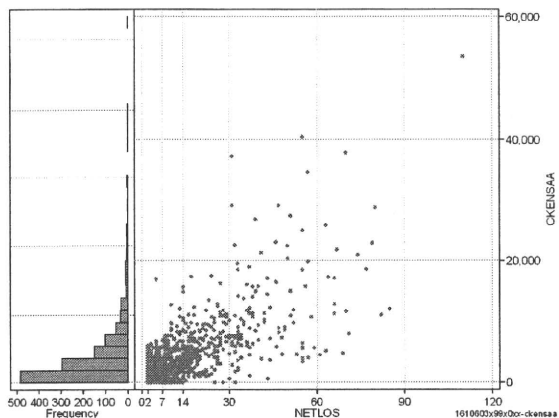
今回、特に『010010』脳腫瘍の診断群分類において、手術や中心静脈栄養・化学療法などの処置は、患者属性や臨床情報 (部位病理、JCS など)、併存症、その他の因子に比較し支払いに影響している。つまり処置がどれか一つでも出現した場合、『有無評価』だけでいいかという問題を提起している (より正確にはこれら因子の交互作用を分析することも必要)。支払い評価の手順にもかかわらず、症例数がある程度収集されているのなら、少なくともこれら 3 処置が独自に評価されてしかるべきといえよう。一方 cALL, cDPC と一件点

DPC6	入院目的	年齢等	手術	処置1	処置2	副傷病	重症度等	包括	点数<I	入院期間I	点数<II	入院期間II	点数≥II	特定入院期間
161060	3	x	99	x	0	x	x	○	3,226	4	2,625	11	2,231	27

検査(検査(薬剤・材料以外)+検査(薬剤・材料))

cKENSAA=cKENSA+cKENSAm

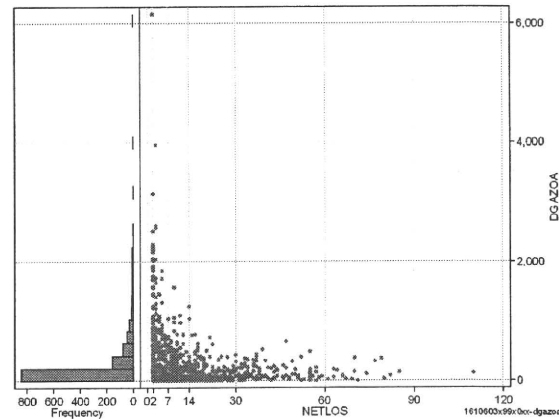
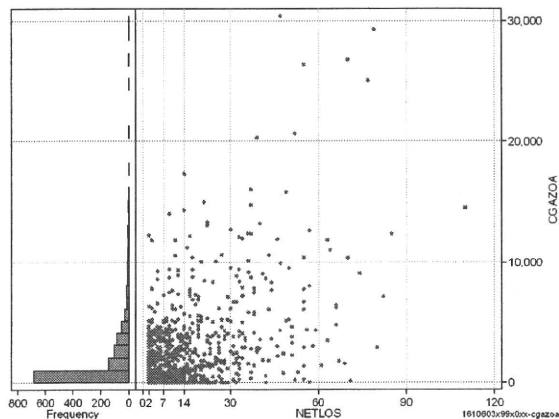
	N	Median	Mean	STD	Min	1%	5%	25%	75%	95%	99%	Max
cKENSAA	1,198	2,325.0	3,822.1	4,815.4	0	0	0	1,166	4,714	11,926	24,921	53,451
dKENSAA	1,198	332.3	449.6	445.6	0	0	0	186	583	1,291	2,383	3,405
cKensa	1,198	2,294.5	3,770.0	4,736.7	0	0	0	1,155	4,669	11,486	22,886	53,441
cKensam	1,198	0.0	52.1	451.3	0	0	0	0	0	139	750	8,323
dKensa	1,198	329.7	442.4	429.1	0	0	0	186	572	1,258	2,256	3,038
dKensam	1,198	0.0	7.1	64.1	0	0	0	0	0	12	133	1,360



画像診断(画像診断(薬剤・材料以外)+画像診断(薬剤・材料))

cGAZOa=cGAZO+cGAZOm

	N	Median	Mean	STD	Min	1%	5%	25%	75%	95%	99%	Max
cGAZOa	1,198	622.5	1,991.6	3,302.8	0	0	0	2,617	8,591	14,773	30,377	
dGAZOa	1,198	91.5	235.1	428.0	0	0	0	251	964	2,062	6,151	
cGAZO	1,198	526.0	1,409.0	2,058.8	0	0	0	2,053	5,633	9,626	17,874	
cGAZOm	1,198	56.0	582.6	1,449.1	0	0	0	316	3,416	6,587	16,390	
dGAZO	1,198	77.5	168.1	266.3	0	0	0	188	722	1,291	2,559	
dGAZOm	1,198	8.9	67.0	198.0	0	0	0	39	319	961	3,592	



各項目のページへ:

- [1. 概況](#)
- [2. 入院](#)
- [3. 手術・処置](#)
- [4. 処方・注射](#)
- [5. 検査・画像](#)
- [6. 放治・リハ](#)
- [7. その他](#)
- [8. 診療密度](#)

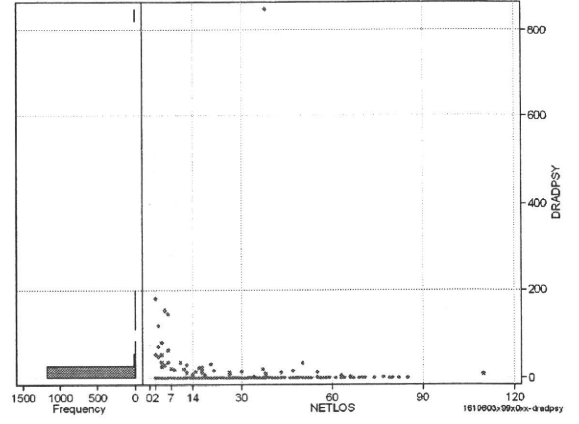
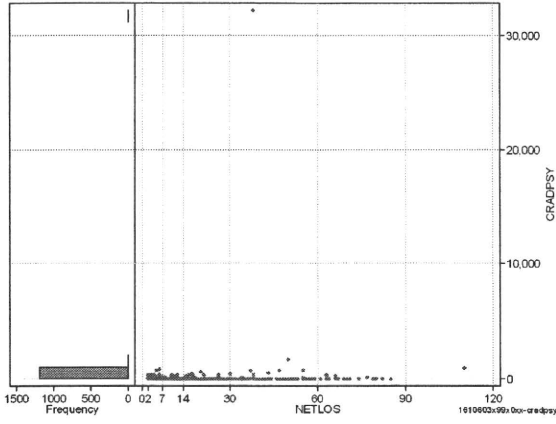
[一覧に戻る](#)

DPC6	入院目的	年齢等	手術	処置1	処置2	副傷病	重症度等	包括	点数<I	入院期間I	点数<II	入院期間II	点数≥II	特定入院期間
161060	3	x	99	x	0	x	x	○	3,226	4	2,625	11	2,231	27

その他放治等(リハビリ除く)(その他-リハビリ)

cRADPSY=cSONOTA-cREHAB

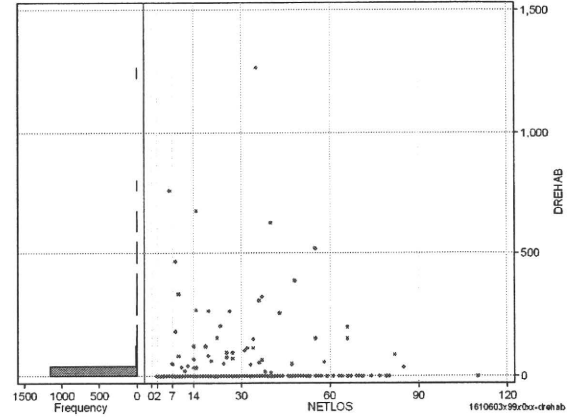
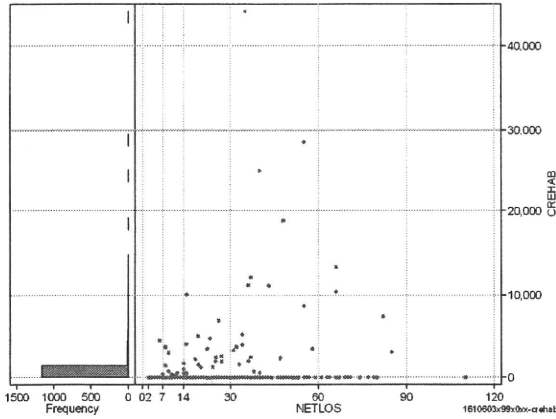
	N	Median	Mean	STD	Min	1%	5%	25%	75%	95%	99%	Max
cRADPSY	1,198	0.0	41.4	936.8	0	0	0	0	0	0	440	32,277
dRADPSY	1,198	0.0	2.1	26.7	0	0	0	0	0	0	50	849



リハビリ

cREHAB

	N	Median	Mean	STD	Min	1%	5%	25%	75%	95%	99%	Max
cRehab	1,198	0.0	246.4	2,023.7	0	0	0	0	0	0	7,400	44,180
dRehab	1,198	0.0	8.4	61.7	0	0	0	0	0	0	269	1,262



各項目のページへ:

- [1. 概況](#)
- [2. 入院](#)
- [3. 手術・処置](#)
- [4. 処方・注射](#)
- [5. 検査・画像](#)
- [6. 放治・リハ](#)
- [7. その他](#)
- [8. 診療密度](#)

[一覧に戻る](#)

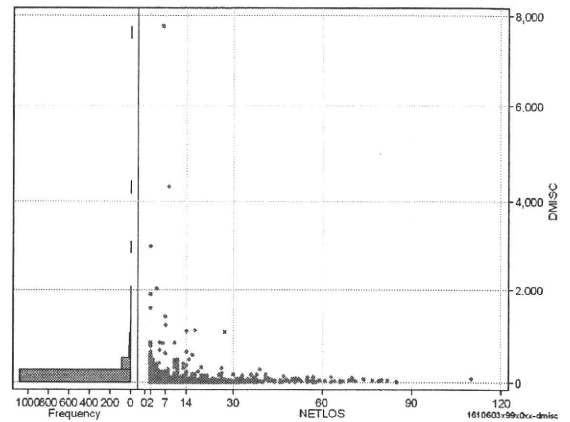
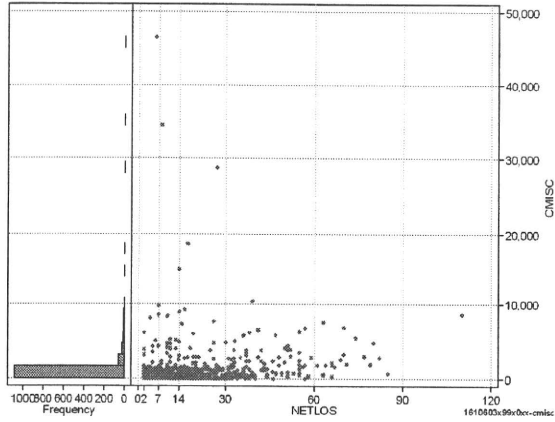


DPC6	入院目的	年齢等	手術	処置1	処置2	副傷病	重症度等	包括	点数<I	入院期間I	点数<II	入院期間II	点数≥II	特定入院期間
161060	3	x	99	x	0	x	x	○	3,226	4	2,625	11	2,231	27

諸項目(初診料+指導管理料+在宅医療)

cMISC=cSHOSIN+cSHIDO+cZAITAKU

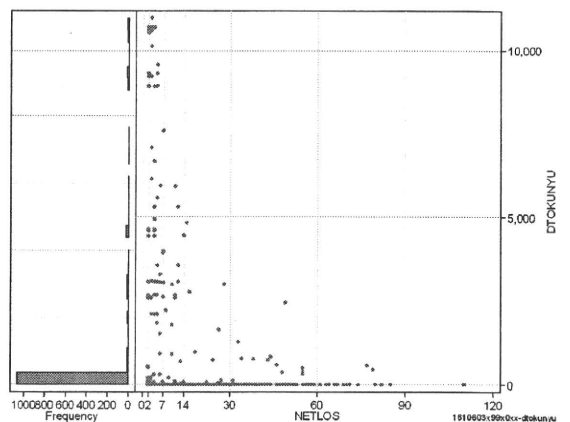
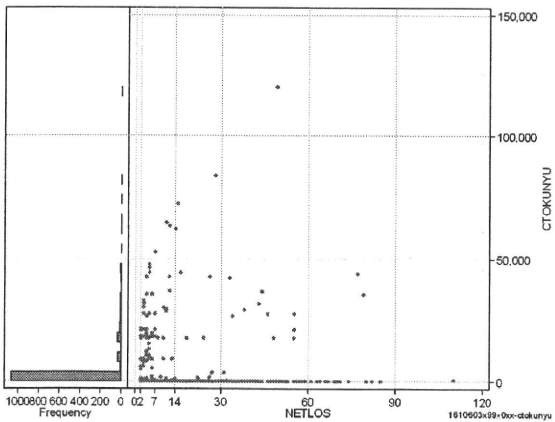
	N	Median	Mean	STD	Min	1%	5%	25%	75%	95%	99%	Max
cMISC	1,198	350.0	789.5	2,299.4	0	0	0	0	750	2,960	8,330	46,686
dMISC	1,198	34.1	106.6	317.4	0	0	0	0	125	390	840	7,781
cSHOSIN	1,198	0.0	123.2	231.2	0	0	0	0	250	650	832	1,460
cShido	1,198	0.0	399.3	831.3	0	0	0	0	500	1,720	4,230	8,500
cZaitak	1,198	0.0	266.9	2,142.3	0	0	0	0	0	0	7,864	46,336
dShosin	1,198	0.0	38.2	86.6	0	0	0	0	8	243	365	730
dShido	1,198	0.0	38.0	81.6	0	0	0	0	48	173	300	1,580
dZaitak	1,198	0.0	30.4	296.7	0	0	0	0	0	0	811	7,723



特定入院料

cTOKUNYU

	N	Median	Mean	STD	Min	1%	5%	25%	75%	95%	99%	Max
cTokuNyu	1,198	0.0	2,540.9	8,996.0	0	0	0	0	0	18,590	44,175	120,260
dTokuNyu	1,198	0.0	601.0	2,042.4	0	0	0	0	0	4,645	10,590	10,962



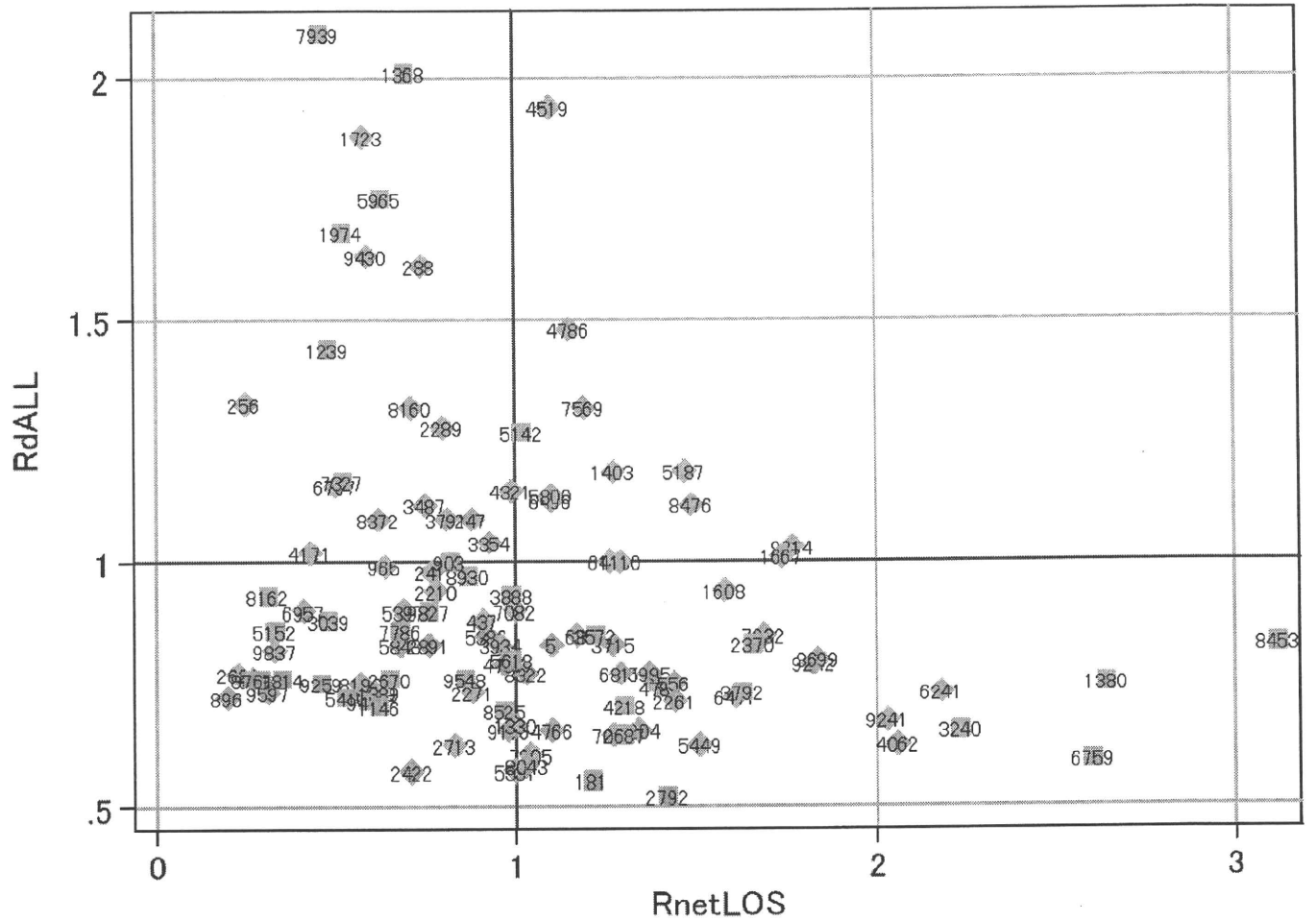
各項目のページへ:

- 1. 概況
- 2. 入院
- 3. 手術・処置
- 4. 処方・注射
- 5. 検査・画像
- 6. 放治・リハ
- 7. その他
- 8. 診療密度

[一覧に戻る](#)

DPC6	入院目的	年齢等	手術	処置1	処置2	副傷病	重症度等	包括	点数<I	入院期間I	点数<II	入院期間II	点数≥II	特定入院期間
161060	3	x	99	x	0	x	x	○	3,226	4	2,625	11	2,231	27

施設別の診療密度			metLOS/rcALL
症例数合計	netLOSの平均	dALLの平均	
1198	11.9	4,613	



1610603x99x0xx-densityA

各項目のページへ:

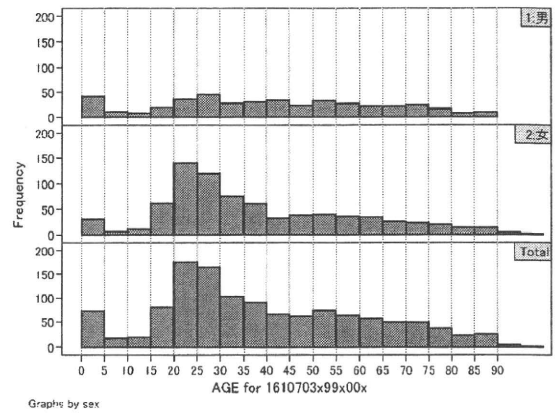
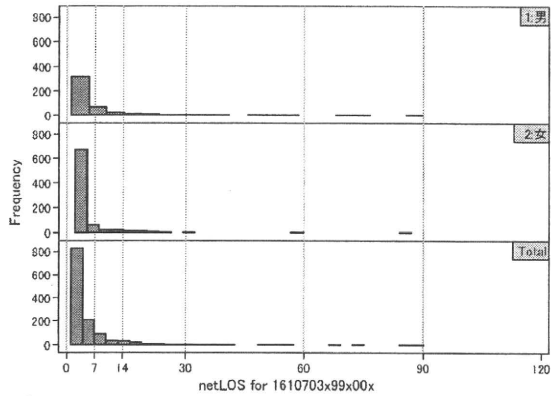
- [1. 概況](#)
- [2. 入院](#)
- [3. 手術・処置](#)
- [4. 処方・注射](#)
- [5. 検査・画像](#)
- [6. 放治・リハ](#)
- [7. その他](#)
- [8. 診療密度](#)

[一覧に戻る](#)

DPC6	入院目的	年齢等	手術	処置1	処置2	副傷病	重症度等	包括	点数<I	入院期間I	点数<II	入院期間II	点数≥II	特定入院期間
161070	3	x	99	x	0	0	x	○	3,271	3	2,418	5	2,055	6

性別・年齢、機関別基礎集計

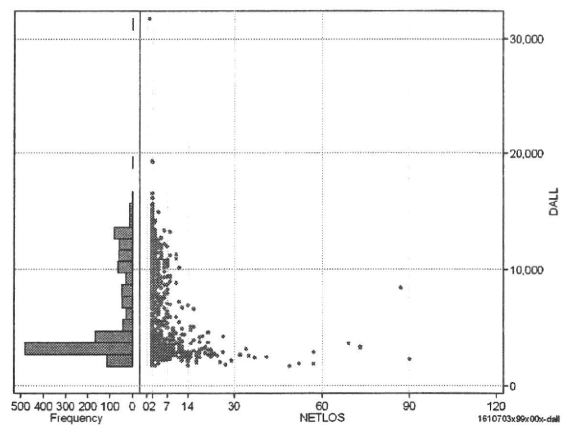
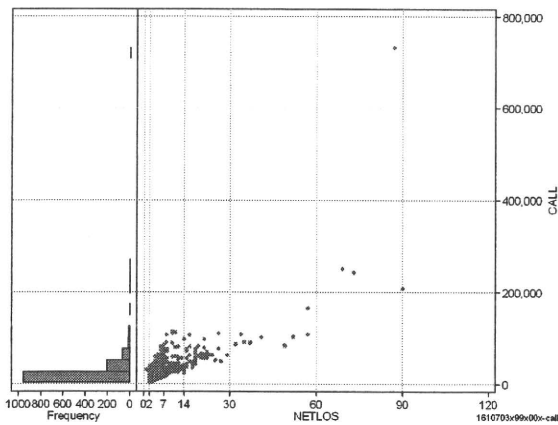
	N	Median	Mean	STD	Min	1%	5%	25%	75%	95%	99%	Max
netLOS	1,249	3.0	4.7	6.8	1	2	2	2	5	15	34	90



総点数の合計

	N	Median	Mean	STD	Min	1%	5%	25%	75%	95%	99%	Max
cAll	1,249	17,184.0	23,000.1	29,274.6	3,612	4,841	5,835	8,128	27,093	60,733	106,097	733,034
dAll	1,249	3,794.0	5,981.1	3,876.5	1,705	2,066	2,510	3,140	9,089	13,260	14,977	31,716

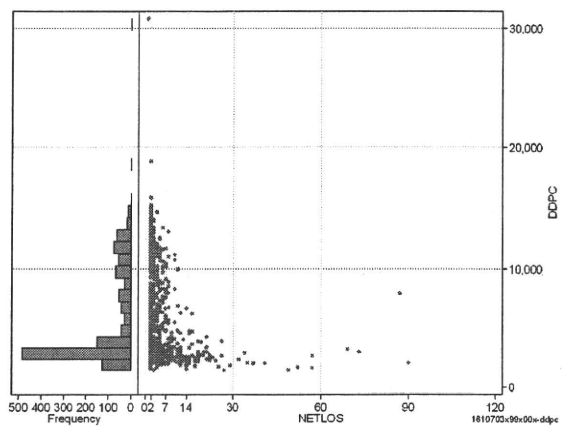
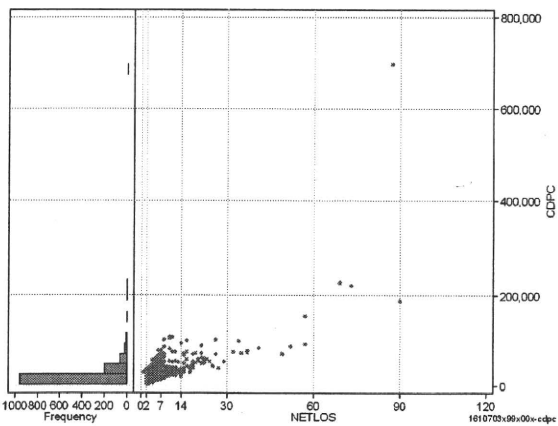
cALL/dALL



包括対象部分

	N	Median	Mean	STD	Min	1%	5%	25%	75%	95%	99%	Max
cDPC	1,249	15,500.0	21,392.7	27,582.5	3,194	4,293	5,341	7,394	25,732	57,645	94,695	697,148
dDPC	1,249	3,463.5	5,599.7	3,780.5	1,447	1,865	2,249	2,830	8,508	12,715	14,491	30,774

cDPC/dDPC



各項目のページへ:

- 1. 概況
- 2. 入院
- 3. 手術・処置
- 4. 処方・注射
- 5. 検査・画像
- 6. 放治・リハ
- 7. その他
- 8. 診療密度

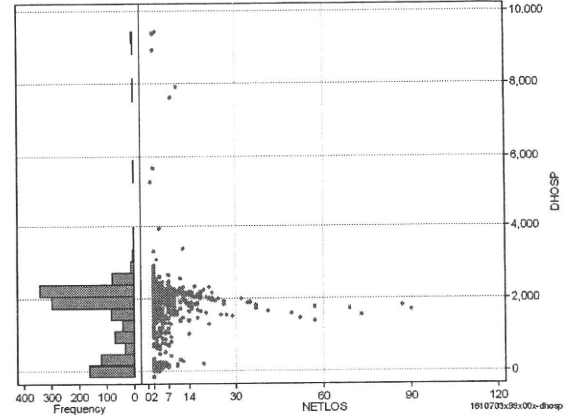
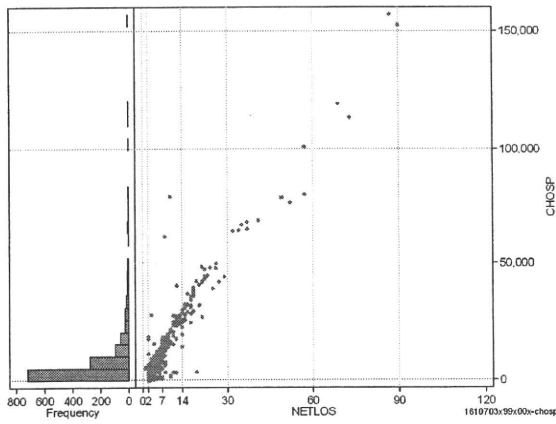
[一覧に戻る](#)

DPC6	入院目的	年齢等	手術	処置1	処置2	副傷病	重症度等	包括	点数<I	入院期間I	点数<II	入院期間II	点数≥II	特定入院期間
161070	3	x	99	x	0	0	x	○	3,271	3	2,418	5	2,055	6

入院日数依存部分(入院管理料+加算+入院時食事療養等+調剤+調期)

cHOSP=cNYUIN+cSHOKUJI+cRxCHO+cRxCHOKI

	N	Median	Mean	STD	Min	1%	5%	25%	75%	95%	99%	Max
cHOSP	1,249	4,406.0	7,952.5	12,825.4	-350	0	30	2,130	7,962	29,283	64,358	157,140
dHOSP	1,249	1,917.9	1,555.5	1,034.3	-175	0	15	783	2,146	2,486	3,066	9,415
cNyuin	1,249	4,048.0	7,088.8	11,419.7	-350	0	0	1,861	7,246	26,294	57,512	148,118
cShokuji	1,249	4,240.0	8,249.9	15,018.6	0	0	0	2,120	8,480	32,400	82,600	184,450
cRxCho	1,249	7.0	18.6	42.8	0	0	0	0	14	77	175	574
cRxChoKi	1,249	0.0	20.1	24.0	0	0	0	0	42	42	84	188
dNyuin	1,249	1,784.0	1,407.8	1,008.9	-175	0	0	638	1,966	2,311	2,917	9,205
dShokuji	1,249	1,446.7	1,389.5	982.8	0	0	0	967	2,120	2,900	3,150	11,935
dRxCho	1,249	2.8	2.9	3.0	0	0	0	0	5	7	7	43
dRxChoKi	1,249	0.0	5.9	8.1	0	0	0	0	11	21	21	42



各項目のページへ:

- [1. 概況](#)
- [2. 入院](#)
- [3. 手術・処置](#)
- [4. 処方・注射](#)
- [5. 検査・画像](#)
- [6. 放治・リハ](#)
- [7. その他](#)
- [8. 診療密度](#)

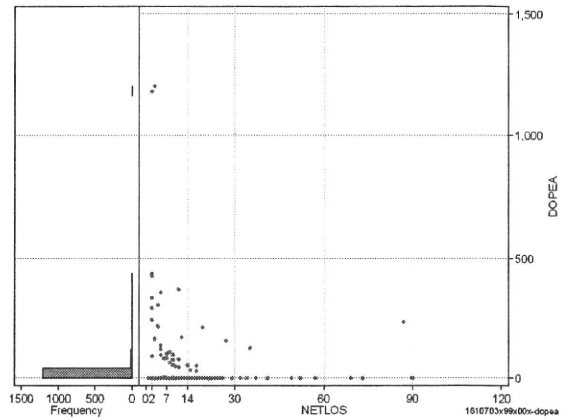
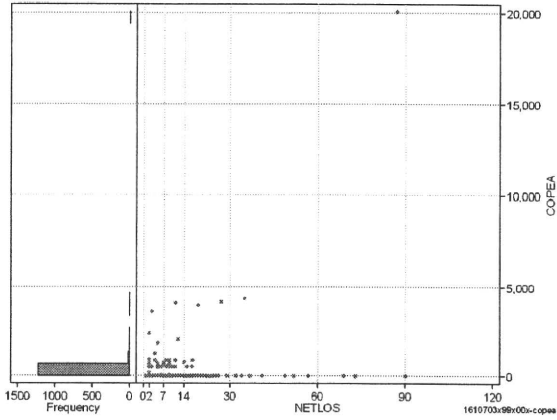
[一覧に戻る](#)

DPC6	入院目的	年齢等	手術	処置1	処置2	副傷病	重症度等	包括	点数<I	入院期間I	点数<II	入院期間II	点数≥II	特定入院期間
161070	3	x	99	x	0	0	x	○	3,271	3	2,418	5	2,055	6

手術(手術(薬剤・材料以外)+手術(薬剤・材料))

cOPEa=cOPE+cOPEm

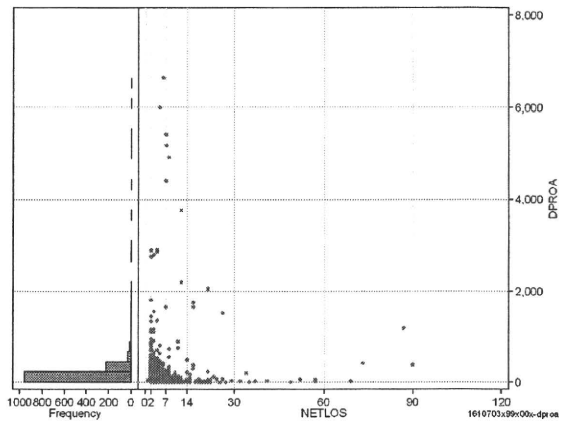
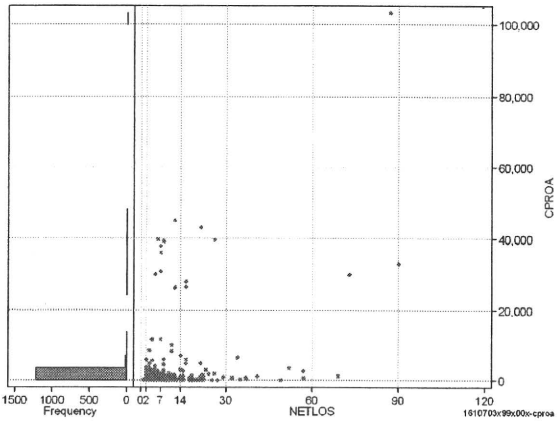
	N	Median	Mean	STD	Min	1%	5%	25%	75%	95%	99%	Max
cOPEa	1,249	0.0	55.3	639.2	0	0	0	0	0	0	868	20,071
dOPEa	1,249	0.0	7.6	61.0	0	0	0	0	0	0	231	1,204
cOpe	1,249	0.0	38.5	313.7	0	0	0	0	0	0	846	7,660
cOpem	1,249	0.0	16.8	371.7	0	0	0	0	0	0	32	12,411
dOpe	1,249	0.0	6.9	58.6	0	0	0	0	0	0	212	1,200
dOpem	1,249	0.0	0.7	9.6	0	0	0	0	0	0	6	227



処置(処置(薬剤・材料以外)+処置(薬剤・材料))

cPROa=cPRO+cPROm

	N	Median	Mean	STD	Min	1%	5%	25%	75%	95%	99%	Max
cPROa	1,249	296.0	953.2	4,765.5	0	0	0	9	586	1,749	28,060	103,286
dPROa	1,249	82.7	183.7	470.0	0	0	0	2	208	456	2,192	6,639
cPro	1,249	180.0	657.7	3,493.4	0	0	0	0	400	1,094	11,930	57,883
cProm	1,249	90.0	295.6	1,816.9	0	0	0	0	210	649	4,319	45,403
dPro	1,249	40.0	124.4	388.8	0	0	0	0	148	286	1,640	5,800
dProm	1,249	28.0	59.3	177.1	0	0	0	0	73	185	401	4,651



各項目のページへ:

- [1. 概況](#)
- [2. 入院](#)
- [3. 手術・処置](#)
- [4. 処方・注射](#)
- [5. 検査・画像](#)
- [6. 放治・リハ](#)
- [7. その他](#)
- [8. 診療密度](#)

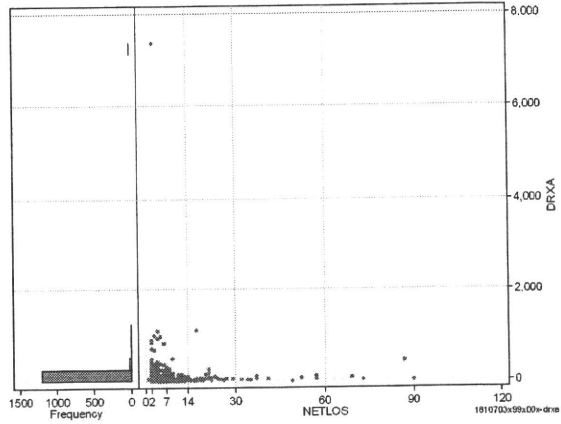
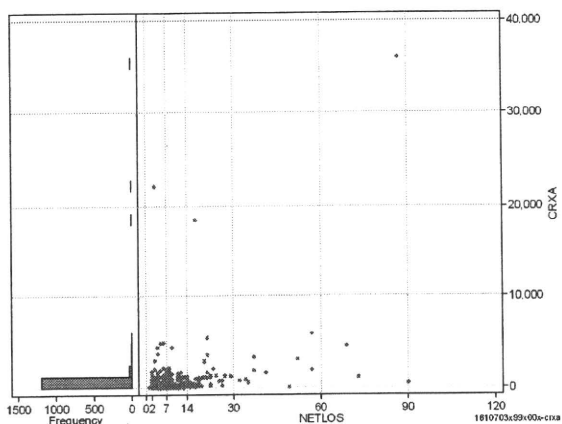
[一覧に戻る](#)

DPC6	入院目的	年齢等	手術	処置1	処置2	副傷病	重症度等	包括	点数<I	入院期間I	点数<II	入院期間II	点数≥II	特定入院期間
161070	3	x	99	x	0	0	x	○	3,271	3	2,418	5	2,055	6

処方(内服+頓服+外用+麻薬)

cRXa=cRxNAI+cRxTON+cRxGAI+cRxMADO

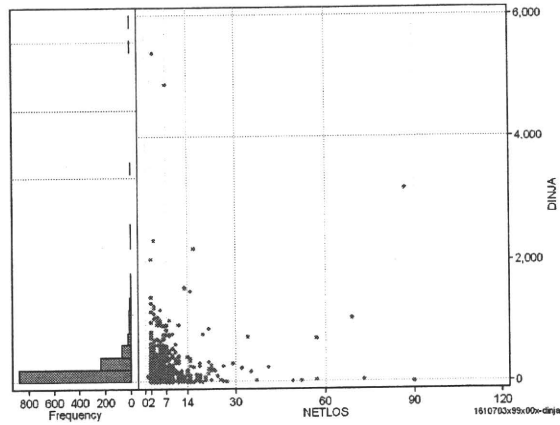
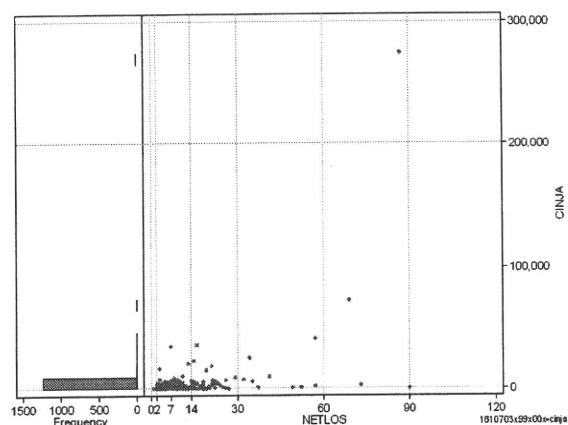
	N	Median	Mean	STD	Min	1%	5%	25%	75%	95%	99%	Max
cRXa	1,249	29.0	260.4	1,397.6	0	0	0	0	159	1,078	3,277	36,025
dRXa	1,249	8.0	44.3	229.4	0	0	0	0	38	165	464	7,379
cRxNai	1,249	0.0	203.1	1,304.0	0	0	0	0	103	761	2,749	33,101
cRxTon	1,249	0.0	23.9	214.0	0	0	0	0	0	64	222	4,721
cRxGai	1,249	0.0	32.5	156.2	0	0	0	0	0	133	765	2,715
cRxMado	1,249	0.0	1.0	5.5	0	0	0	0	0	5	17	147
dRxNai	1,249	0.0	32.1	219.8	0	0	0	0	25	117	346	7,352
dRxTon	1,249	0.0	6.1	51.0	0	0	0	0	0	23	77	1,012
dRxGai	1,249	0.0	6.0	31.2	0	0	0	0	0	21	147	677
dRxMado	1,249	0.0	0.1	0.4	0	0	0	0	0	1	1	7



注射(皮下筋肉内+静脈内+注射その他)

cINJa=cInjHIKA+cInjJYO+cInjHOKA

	N	Median	Mean	STD	Min	1%	5%	25%	75%	95%	99%	Max
cINJa	1,249	341.0	1,208.5	8,389.6	0	0	63	188	759	3,761	9,540	274,855
dInja	1,249	123.8	193.1	302.9	0	0	18	72	201	549	1,194	5,390
cInjHika	1,249	0.0	38.0	544.2	0	0	0	0	0	30	422	17,420
cInjJyo	1,249	0.0	71.2	377.6	0	0	0	0	0	241	1,809	5,844
cInjHoka	1,249	325.0	1,099.3	8,335.7	0	0	14	174	697	2,936	7,275	274,849
dInjHika	1,249	0.0	4.0	39.3	0	0	0	0	0	6	95	830
dInjJyo	1,249	0.0	11.3	57.1	0	0	0	0	0	49	261	824
dInjHoka	1,249	119.0	177.8	293.1	0	0	1	68	189	476	1,093	5,390



各項目のページへ:

- [1. 概況](#)
- [2. 入院](#)
- [3. 手術・処置](#)
- [4. 処方・注射](#)
- [5. 検査・画像](#)
- [6. 放治・リハ](#)
- [7. その他](#)
- [8. 診療密度](#)

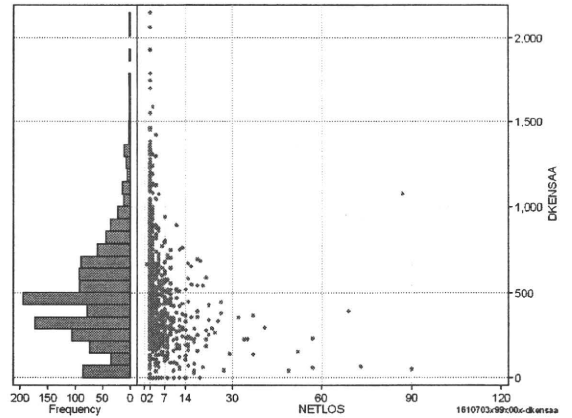
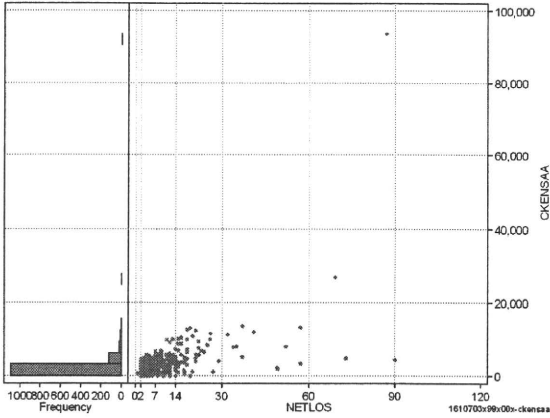
[一覧に戻る](#)

DPC6	入院目的	年齢等	手術	処置1	処置2	副傷病	重症度等	包括	点数<I	入院期間I	点数<II	入院期間II	点数≥II	特定入院期間
161070	3	x	99	x	0	0	x	○	3,271	3	2,418	5	2,055	6

検査(検査(薬剤・材料以外)+検査(薬剤・材料))

cKENSAa=cKENSA+cKENSAm

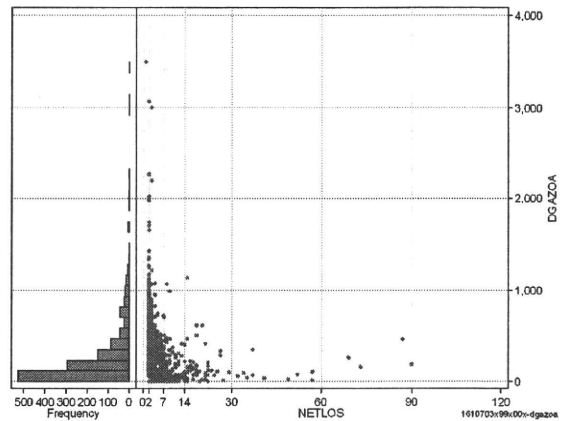
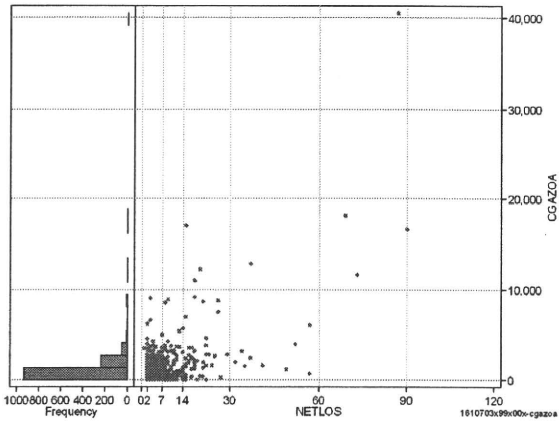
	N	Median	Mean	STD	Min	1%	5%	25%	75%	95%	99%	Max
cKENSAa	1,249	1,315.0	1,864.5	3,198.9	0	0	0	880	2,017	4,890	10,124	93,647
dKENSAa	1,249	440.0	480.4	298.1	0	0	0	293	648	1,005	1,360	2,149
cKensa	1,249	1,315.0	1,854.3	3,090.6	0	0	0	880	2,017	4,851	10,124	89,199
cKensam	1,249	0.0	10.3	135.0	0	0	0	0	0	15	163	4,448
dKensa	1,249	440.0	479.0	296.2	0	0	0	293	648	1,000	1,348	2,149
dKensam	1,249	0.0	1.5	10.9	0	0	0	0	0	2	51	273



画像診断(画像診断(薬剤・材料以外)+画像診断(薬剤・材料))

cGAZOa=cGAZO+cGAZOm

	N	Median	Mean	STD	Min	1%	5%	25%	75%	95%	99%	Max
cGAZOa	1,249	490.0	964.8	1,888.1	0	0	0	110	1,344	3,022	8,619	40,455
dGAZOa	1,249	150.0	249.2	339.2	0	0	0	18	316	881	1,654	3,495
cGAZO	1,249	425.0	801.6	1,402.6	0	0	0	110	1,249	2,492	4,616	34,764
cGAZOm	1,249	40.0	163.1	689.5	0	0	0	0	107	349	3,574	9,000
dGAZO	1,249	130.0	215.4	269.9	0	0	0	16	280	795	1,114	2,265
dGAZOm	1,249	13.3	33.8	125.4	0	0	0	0	36	90	474	3,000



各項目のページへ:

- [1. 概況](#)
- [2. 入院](#)
- [3. 手術・処置](#)
- [4. 処方・注射](#)
- [5. 検査・画像](#)
- [6. 放治・リハ](#)
- [7. その他](#)
- [8. 診療密度](#)

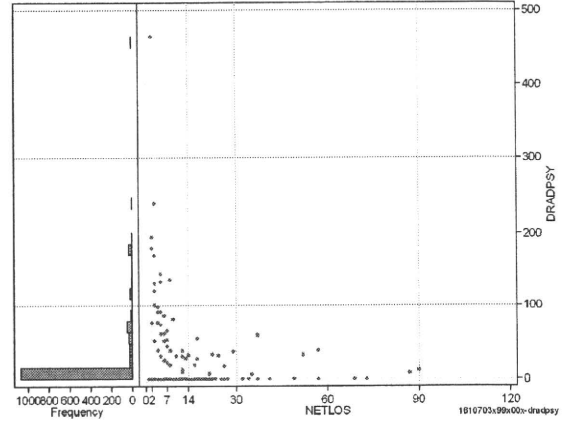
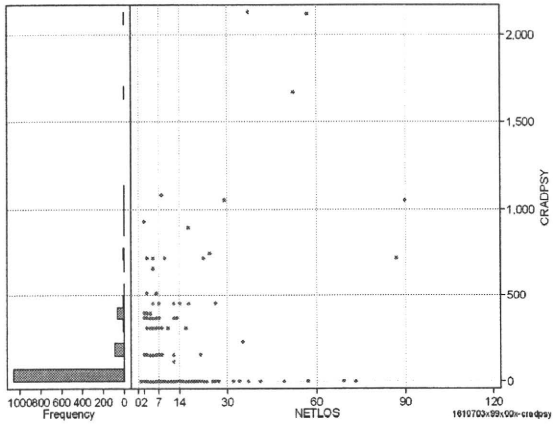
[一覧に戻る](#)

DPC6	入院目的	年齢等	手術	処置1	処置2	副傷病	重症度等	包括	点数<I	入院期間I	点数<II	入院期間II	点数≥II	特定入院期間
161070	3	x	99	x	0	0	x	○	3,271	3	2,418	5	2,055	6

その他放治等(リハビリ除く)(その他-リハビリ)

cRADPSY=cSONOTA-cREHAB

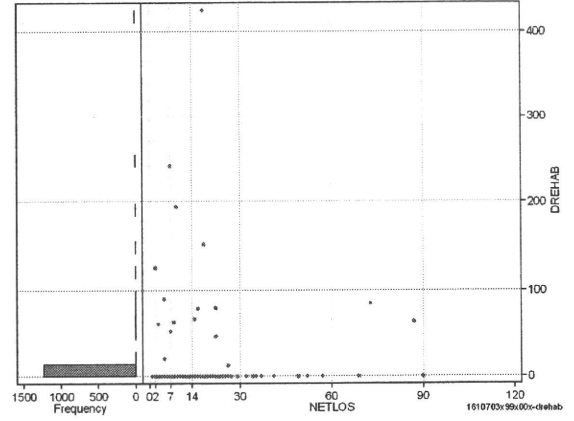
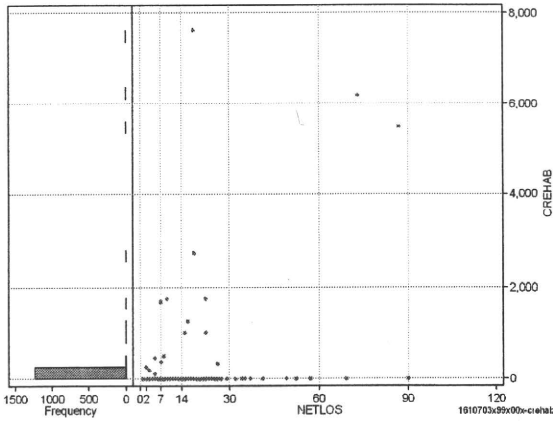
	N	Median	Mean	STD	Min	1%	5%	25%	75%	95%	99%	Max
cRADPSY	1,249	0.0	48.4	158.0	0	0	0	0	0	360	720	2,130
dRADPSY	1,249	0.0	13.1	38.8	0	0	0	0	0	75	180	465



リハビリ

cREHAB

	N	Median	Mean	STD	Min	1%	5%	25%	75%	95%	99%	Max
cRehab	1,249	0.0	26.1	342.6	0	0	0	0	0	0	360	7,630
dRehab	1,249	0.0	1.5	17.0	0	0	0	0	0	0	60	424



各項目のページへ:

- [1. 概況](#)
- [2. 入院](#)
- [3. 手術・処置](#)
- [4. 処方・注射](#)
- [5. 検査・画像](#)
- [6. 放治・リハ](#)
- [7. その他](#)
- [8. 診療密度](#)

[一覧に戻る](#)

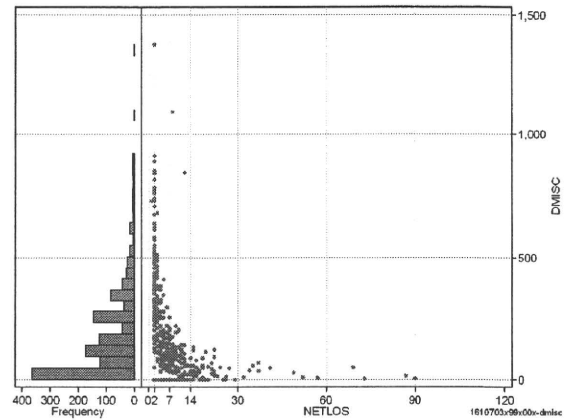
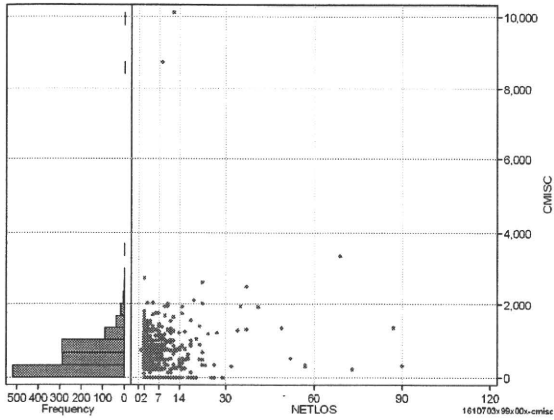


DPC6	入院目的	年齢等	手術	処置1	処置2	副傷病	重症度等	包括	点数<I	入院期間I	点数<II	入院期間II	点数≥II	特定入院期間
161070	3	x	99	x	0	0	x	○	3,271	3	2,418	5	2,055	6

諸項目(初診料+指導管理料+在宅医療)

cMISC=cSHOSIN+cSHIDO+cZAITAKU

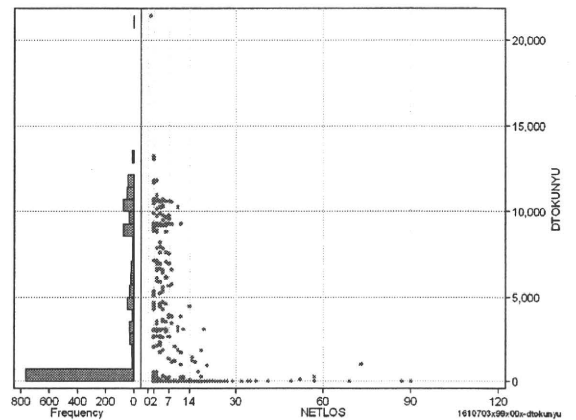
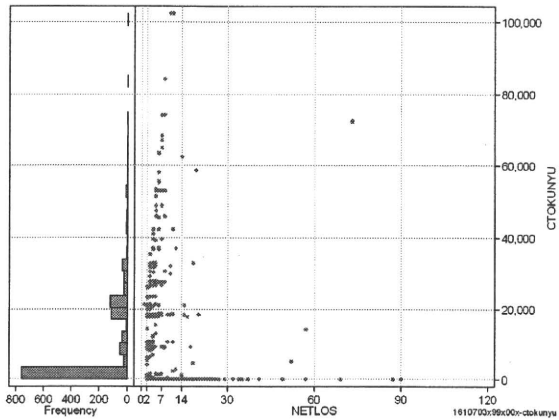
	N	Median	Mean	STD	Min	1%	5%	25%	75%	95%	99%	Max
cMISC	1,249	480.0	532.0	575.8	0	0	0	220	750	1,355	1,950	10,110
dMISC	1,249	125.0	174.4	177.5	0	0	0	21	250	500	785	1,380
cSHOSIN	1,249	250.0	314.3	292.2	0	0	0	0	500	730	980	1,464
cShido	1,249	0.0	191.7	338.3	0	0	0	0	350	800	1,420	2,970
cZaitak	1,249	0.0	26.1	338.2	0	0	0	0	0	0	520	8,110
dShosin	1,249	83.3	115.6	126.5	0	0	0	0	168	365	487	730
dShido	1,249	0.0	52.7	96.9	0	0	0	0	73	260	400	660
dZaitak	1,249	0.0	6.1	53.6	0	0	0	0	0	0	173	1,014



特定入院料

cTOKUNYU

	N	Median	Mean	STD	Min	1%	5%	25%	75%	95%	99%	Max
cTokuNyu	1,249	0.0	9,013.8	14,202.3	0	0	0	0	18,390	32,885	58,615	102,300
dTokuNyu	1,249	0.0	3,032.5	4,321.2	0	0	0	0	6,130	10,962	11,795	21,380



各項目のページへ:

- [1. 概況](#)
- [2. 入院](#)
- [3. 手術・処置](#)
- [4. 処方・注射](#)
- [5. 検査・画像](#)
- [6. 放た・リハ](#)
- [7. その他](#)
- [8. 診療密度](#)

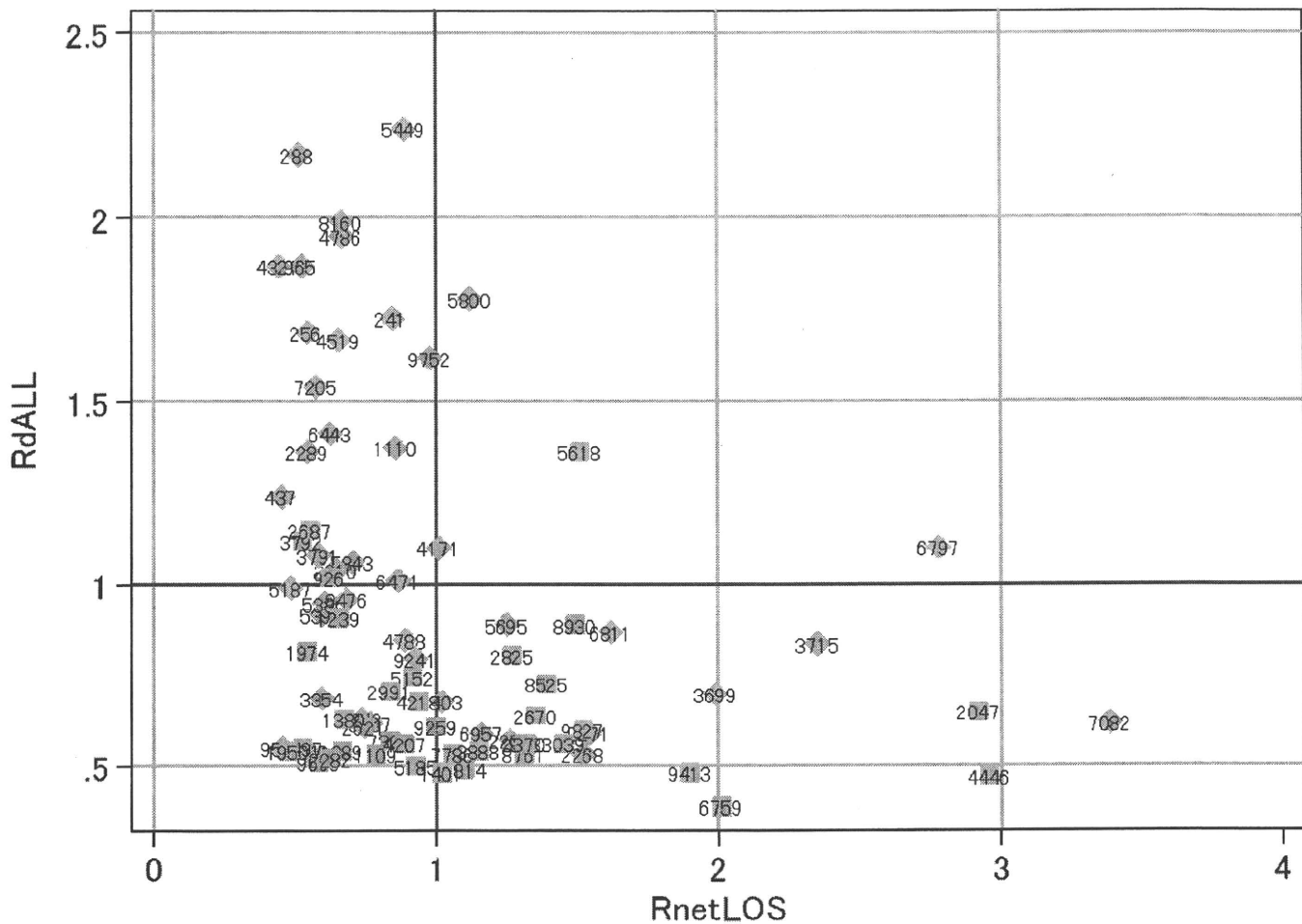
[一覧に戻る](#)

DPC6	入院目的	年齢等	手術	処置1	処置2	副傷病	重症度等	包括	点数<I	入院期間I	点数<II	入院期間II	点数≥II	特定入院期間
161070	3	x	99	x	0	0	x	○	3,271	3	2,418	5	2,055	6

施設別の診療密度

metLOS/rcALL

症例数合計	netLOSの平均	dALLの平均
1249	4.7	5.981



1610703x99x00x-densityA

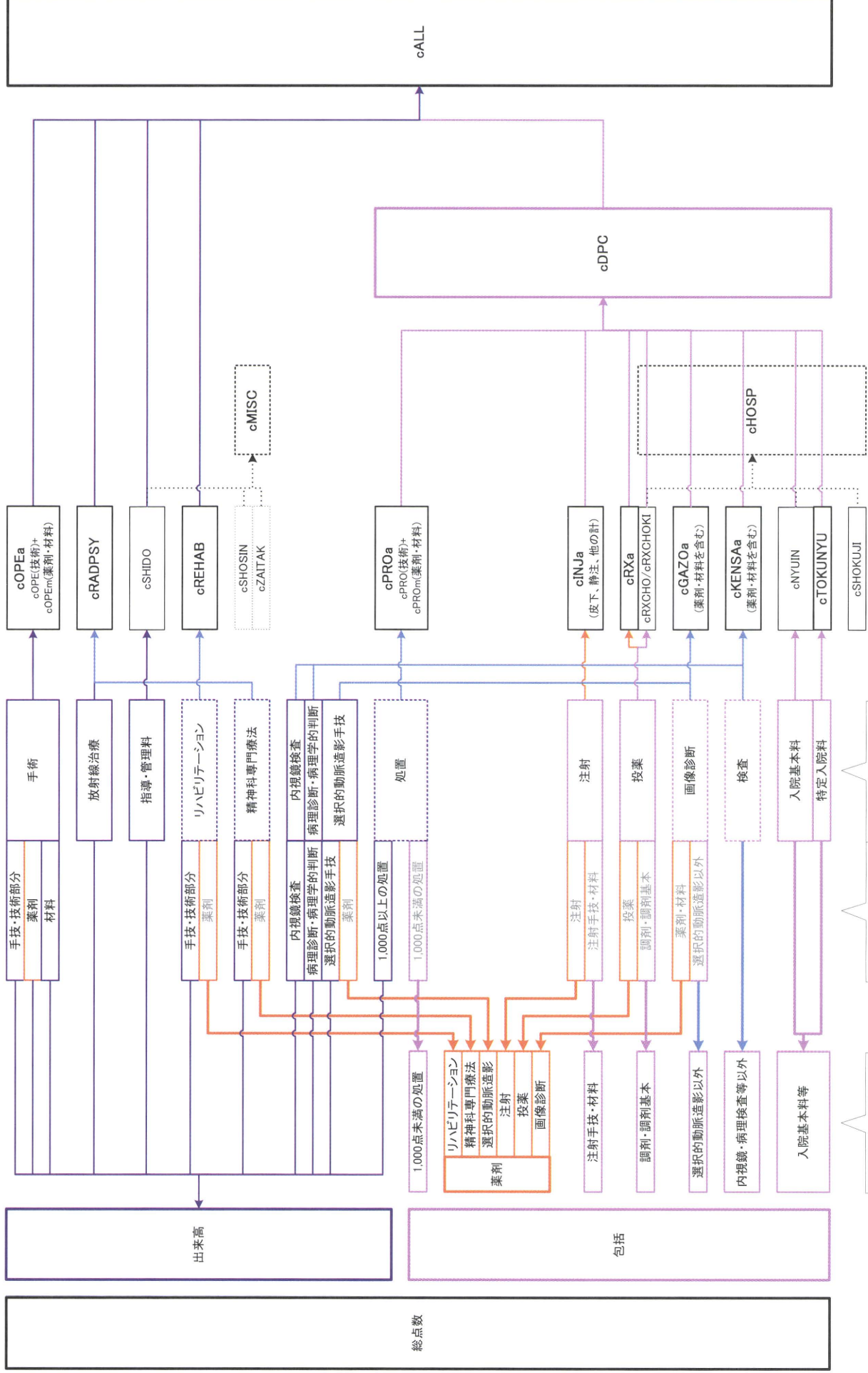
各項目のページへ:

- [1. 概況](#)
- [2. 入院](#)
- [3. 手術・処置](#)
- [4. 処方・注射](#)
- [5. 検査・画像](#)
- [6. 放治・リハ](#)
- [7. その他](#)
- [8. 診療密度](#)

[一覧に戻る](#)

包括評価による診療報酬請求の枠組み

ポートフォリオでの枠組み(変数名と合算の関係)



留意事項:

- ① 太字・太字の変数については集計値に追加してグラフあり、他の変数は集計値のみ・グラフなし
- ② ポートフォリオの変数名では、頭1文字が「c」→1入院あたり、「d」→入院1日あたり
- ③ 変数の説明については、「変数名の一覧」を参照

内訳  
内訳は左側でとりまとめられているもの

包括対象

診療区分  
点線は分割されているもの

